

保護者の皆様へ

穴喰中学校長 久保 善信

令和7年度 学校評価のためのアンケートの結果と考察について

寒さ厳しき日が続いております。保護者の皆様には、本校教育進展のためにご理解、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、12月に「穴喰中学校の教育」に関するアンケートをお願いしましたが、保護者の皆様にはお忙しい時期にたいへんお世話になりました。皆様にご回答いただきました学校評価アンケートと学校で実施いたしました生徒・教職員による評価アンケートの集計結果ができましたのでご報告させていただきます。今回のアンケート結果を踏まえて、これからも学校運営に工夫・改善を重ねていきたいと思っております。また、ご家庭におかれましても、今後の家庭教育の参考にしていただければ幸いです。今後ともさらなるご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 調査の概要

(1) 回答数

生徒 45名、保護者 35名、教職員 14名

(2) 質問内容、回答方式等

本年度も、生徒・保護者・教職員でほぼ同じ質問内容のアンケートを行い、三者の比較もできるようにしました。回答は、それぞれの質問項目に対して、「そう思う」「ほぼそう思う」「あまり思わない」「思わない」からの選択回答としました。

(肯定的な評価)	1: そう思う	2: ほぼそう思う
(否定的な評価)	3: あまり思わない	4: 思わない

2 調査結果 (グラフと照らし合わせてご覧ください。)

(1) 【学校生活に関すること】学校の雰囲気・施設設備の充実

1-1 穴喰中学校は、生徒一人一人が大切にされていて学校の雰囲気もよい。

昨年度と同様に、肯定的な評価が非常に高い。今後も学校全体の雰囲気をさらによくしていきたい、生徒一人一人に応じた丁寧な指導を実践していきたい。

1-2 教育環境は整備されている。

特に保護者の肯定的な意見が大きく増えている。修学旅行・学校行事・総合的な学習の時間等でタブレット端末を校外へ持ち出し活用している。また、ワイードについても、今年度さらに一台増設された。引き続き効果的に活用し、ICTの活用をさらに充実させていく。教室環境については、営繕修理できるところは丁寧に修繕に努め、備品等を大切に使用していきたい。

1-3 安全安心な学校づくりに努めている。

昨年同様、肯定的な意見が三者とも95%以上となっている。総合的な学習の時間や小中連携に「防災教育」を位置づけるなど、重点目標として取り組んでいる。毎月20日(学校安全の日)の施設設備の安全点検・避難訓練など、生徒の安全確保に関わる取組をさらに充実させ、安全・安心な学校づくりを進めていきたい。

1-4 生徒は、喜んで登校している。

生徒・教職員の肯定的な意見が向上している。さらにこの意見が向上し、生徒100%が毎日喜んで登校できる学校とするために、生徒一人一人のよさを伸ばし、頑張りを認め、温かな声かけをし、生徒たちが充実した学校生活を送ることができるよう支えていく。

(2) 【生徒の生活に関すること】 他人への思いやり・学校のきまり・基本的な生活習慣

2-1 生徒は、周囲の人に対して思いやりの気持ちを持って行動できている。

生徒・保護者とも肯定的な評価が向上している。自分も周りの人も大切にするという思いやりの心を、道徳・人権教育をはじめ、全ての教育活動を通して養っていく。

2-2 生徒は、学校のきまりや社会のルールを守っている。

生徒・保護者とも肯定的な評価が4%以上向上している。活気のある学校生活をめざすとともに、これからも、あいさつ・学習ルール・集団活動・清掃などの具体的な指導を通して、規範意識を高めるよう取り組みを継続する。

2-3 生徒は、基本的な生活習慣(あいさつや返事)をよく身につけている。

生徒・教職員はともに肯定的な評価が4%以上向上している。毎日、学校のみならず地域でも気持ちの良いあいさつができるように、今後も望ましい基本的な生活習慣の定着をめざして、「時間を守る・あいさつをする・清掃に汗を流す」を三本柱として年間を通して取り組んでいく。

2-4 生徒は、時間を守って行動できている。(生徒・教職員のみ)

生徒の肯定的な評価が大きく低下し、24%の生徒たちが時間を守れていない場合があると答えている。時間を守ることは社会のルールとしても大切なルールである。学校においても、登校遅刻や授業遅刻などが少なくなるよう粘り強く指導していく。

2-5 生徒は、清掃にまじめに取り組んでいる。(生徒・教職員のみ)

生徒・保護者とも90%以上が肯定的な評価となっている。日頃から教師も率先して生徒とともに清掃活動に取り組むことを心掛けているが、自主的にやりがいをもって作業ができるよう指導を継続していく。

(3) 【教職員に関すること】 教職員の指導姿勢・情熱

3-1 教職員は、一人一人に応じた適切な学習指導や生活指導をしている。

保護者・生徒とも91%が肯定的な意見となっている。今後もさらに生徒個々に対応したきめ細かな指導を進め、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、指導体制の充実を図っていく。

3-2 教職員は、生徒や保護者の悩みや相談に優しく丁寧に答えている。

生徒・保護者とも否定的な評価が増加した。各家庭との丁寧な連携体制の構築に取り組み、全教職員で生徒や保護者の思いに寄り添った相談対応となるよう、指導体制の見直しを進めていく。

3-3 教職員は、生徒が努力したことを認め、ほめている。

三者とも肯定的な意見が8%程度下落した。今後、授業や学校生活を通して生徒一人一人にしっかりと伝わるように努力した過程を認め、ほめることで生徒の自尊感情や自己有用感を高めていく。

(4) 【授業・学習に関すること】 わかりやすい授業・家庭学習・適切な評価

4-1 生徒は、授業は楽しくわかりやすいと言っている。

保護者の肯定的な意見が18%向上した。生徒の確実な学力向上のために、効果的なICTやタブレット端末の活用、授業形態の工夫など一人一人を大切にしたいわかりやすい授業がさらに展開できるよう全教員で見直し、個々の生徒に応じたきめ細かな指導に一層取り組んでいく。

4-2 生徒は、授業のルールを身に付け、落ち着いて授業に取り組んでいる。(生徒・教職員のみ)

生徒・教職員とも肯定的な意見が7%増加した。この落ち着いた授業環境の中で、今後はさらに生徒が主体的に授業に取り組んでいくことができるよう、ICT やタブレット端末を効果的に活用しながら、分かりやすい授業づくりと、生徒一人一人のやる気を引き出す工夫や教材準備を計画的に進めていく。

4-3 生徒は、家庭学習に意欲的・積極的に取り組んでいる。

生徒は7%、保護者は5%、教職員は43%と、肯定的な評価が向上しており、家庭学習への取組が少しずつ定着してきていることがうかがえる。しかしながら、さらなる充実に向けては、引き続き工夫が必要である。今後は、生徒一人一人が自主的・意欲的に学習に取り組めるよう、学習目標の持たせ方や宿題の工夫を進め、保護者と連携しながら、家庭学習の充実をめざしていく。

4-4 教職員は、生徒の能力や努力を適切・公正に評価している。

生徒・保護者・教職員の三者とも90%以上が肯定的な意見となっている。今後も評価の公平性や妥当性を大切にしながら、生徒一人一人のよさや努力を認め、指導と評価の一体化を図り、学習意欲の向上につながる評価を継続していく。

(5) 【学校行事に関すること】 行事の内容・意義・取り組み方

5-1 学校行事は、楽しく内容も充実している。

保護者の肯定的な意見が前年度より14%低下し、83%となった。一方で、生徒は91%、教職員は100%が肯定的な意見であった。これまで、生徒の意見を行事の改善に反映させながら内容の見直しを進めてきたほか、イーグルフェスティバルも3回目を迎え、おおむね好評を得ている。今後も学校行事の在り方について検討を重ね、生徒・保護者・教職員の声を生かしながら、誰にとっても楽しく充実した行事となるよう、さらなる改善を図っていく。

5-2 学校行事は、生徒の成長や良好な人間関係づくりに役立っている。

保護者・生徒ともに5%程度肯定的な意見は減少したものの、85%以上の肯定的な評価を得ている。学校行事は、授業や部活動だけでは得ることのできない人間関係の構築や多様な活躍の場となっており、今後もその特性を生かしながら、生徒一人一人の成長を支えていく。

5-3 生徒は、学校行事に積極的に取り組んでいる。

昨年に引き続き三者とも90%以上が肯定的に評価している。今後も生徒が自主的・主体的に取り組めるよう、そして生徒の自己有用感を育てることができるよう事前指導を充実させ、生徒からの意見も尊重しながら企画運営を行っていききたい。

(6) 【部活動に関すること】 教師の指導・生徒の取り組み方・意義

6-1 教職員は、熱心に部活指導をしている。

生徒・保護者とも90%を超える肯定的な意見となっている。今後も教員が情熱をもって指導し、生徒や保護者と信頼関係を築きながら、ともに成長していくことを意識しながら指導に当たっていく。生徒数の減少により、拠点校方式や合同チームなどの変化もあり、課題も出てきているが、しっかりと目標を立てて部活動指導に励んでいく。

6-2 生徒は、部活動に楽しく意欲的に取り組んでいる。

昨年と比べて、三者とも肯定的な意見が5%程度向上している。生徒数の減少が進み、各部とも少ない人数で練習に取り組まざるを得ない状況にあるが、生徒たちは意欲的に取り組んでいる。拠点校方式や地域展開など今後の課題もあるが、生徒と教職員が日々練習に励み、部活動の充実に努め、学校の活性化につなげていく。

6-3 部活動は、生徒の成長や良好な人間関係づくりに役立っている。

生徒の肯定的な意見が昨年から14%向上した。部活動の中で、生徒が仲間と関わりながら努力を重ね、達成感や成長を実感している様子がうかがえる。今後も、部活動を通じた経験が生徒の人間的な成長につながるよう、その意義を大切にしながら活動の充実に取り組んでいく。

6-4 部活動では、授業と違った大切なことも学んでいる。(生徒のみ)

昨年度より肯定的な評価がやや向上した。部活動が、生徒にとって人との関わりや努力の大切さを学ぶ場となっていることを感じていると考える。今後も、授業と部活動の双方を通して生徒の成長を支えていきたい。

(7) 【開かれた学校づくりに関すること】 情報公開・参観日や面談・地域の協力

7-1 学校からの情報提供は十分であり、通知は適切である。(保護者・教職員のみ)

保護者の肯定的な意見が6%程度低下したものの、保護者・教職員共に肯定的な評価が高い。今後も学校新聞やマチコミメール・ホームページ・学年便りや個人懇談などを通して、学校の予定や生徒の様子、学校の具体的な取り組みなどについて、なお一層積極的に情報を発信していく。

7-2 授業参観や面談の回数・内容などは適切である。(保護者・教職員のみ)

授業参観や面談の回数・内容について、保護者・教職員ともに肯定的な評価が得られている。今後も授業参観や学校行事の公開方法を工夫しながら、面談の機会に限らず、保護者との連絡や相談を適切に行い、信頼関係に基づいた開かれた学校づくりを推進していく。

7-3 学校からの文書やたよりはいつも届いている。

昨年度と比較して、教職員の肯定的な意見が36%向上した。学校からの通知や案内が確実に保護者に届くように、今後も継続して指導に取り組む。また、学校からのマチコミメールやホームページ等も活用し、情報発信していく。

7-4 お子さんは学校の様子を家庭でよく話している。(保護者・生徒のみ)

肯定的な評価が、保護者66%、生徒73%と昨年度と比べて大幅に向上した。さらに家庭で生徒と保護者の会話が進むように学年便りやホームページなどで、しっかりと情報提供をしていくとともに、学校での良好な人間関係づくりに努めていく。

7-5 保護者や地域の人々が積極的に教育活動に参加し、協力している。(保護者・教職員のみ)

保護者80%、教職員100%と共に肯定的な評価が高い。日頃より、学校行事やPTA活動などに多くのご理解とご協力をいただいております。大変ありがたく感じています。今後もコミュニティ・スクールを活用しながら、小中学校間の連携を深め、地域と共にある学校づくりを一層推進していきたい。

8-1 お子さんは、地域の活動に積極的に参加している。

肯定的な意見が生徒73%、保護者80%、教職員100%と、昨年度に比べて三者とも大幅に向上した。今後も地域とのつながりを大切にしながら、地域の祭りなどの活動への参加をはじめ、地域の方々と関わる機会を通して、生徒が社会性や責任感を育むことができるよう、地域活動への参加を促していく。

(8) 【保護者の意見(自由記述欄)】

- いつもありがとうございます。
- 学校に行くのが楽しみなようで、先生方には感謝しかありません。いつもありがとうございます。
- いつもありがとうございます
- 参観日を土曜日や日曜日に開催してほしかったです。